

北九州大学 商学部

北九州大学は外国語学部、商学部、文学部、法学部の4学部から成る北九州市立の文科系複合大学です。ここで紹介する商学部は、昭和28年商学科だけの学部として発足し、後に経営学科、経済学科に改組されて現在に至っています。商学部にもかかわらず、商学科のないゆえんです。学生定員は両学科それぞれ150名ずつの300名で、専任教員30名で専門教育に当たっています。また、5年前に大学院経営学研究科(修士課程)が発足し、学部、大学院を通じて一貫した教育を行なう体制ができました。

大学院の発足と同時に、ORを内容とする管理工学が開講され、既存の科目である販売管理論とともにパソコンを積極的に活用する授業がなされています。情報処理科目としては機械計算論の他に、経済学、経営学それぞれの特講科目として、情報管理論、情報システム論も相次いで開講されました。汎用コンピュータは6年前にHITAC-L330が導入され、上記の科目の中でCOBOLの実習等に供されていますが、端末が接続されていないこと、記憶容量が小さいことなどから早期のグレードアップを検討中です。講義科目のみならず、管理科学、経済統計、経営心理学などのゼミナールにおいてもコンピュータはシミュレーションやデータ解析のために多用されています。

しかしながら、近年の急速な産業・社会の情報化の実態からすれば、十分な教育体制というには程遠いとい

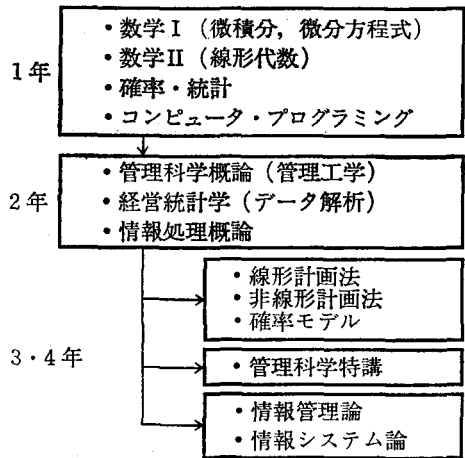


図 1

えます。そこで商学部では、学生の学習意欲をひき出す意味からもカリキュラム全体の再検討を進めてきました。改革骨子の第1は、論理的思考入門にふさわしいゼミ形式のいわゆるプロゼミナールの新設です。第2は必修科目の削減、第3は取得必要単位数の減少、そして第4が新しい科目をいくつか設定しながら各分野での4年間の教育体系を新しく見直すことです。経営学科においては、管理科学系列として経営統計学、情報処理論、線形計画法、非線形計画法、確率モデル、管理科学特講などをできるところから順次開講し、図1の流れ図に示すようなカリキュラムを計画中です。(棚次奎介)

次号予告

特集 スケジューリング

- J R鉄道における列車ダイヤのスケジューリングとシステム化……細井敏弘(鉄道総研)
- バスダイヤ自動編成システム……関孝義(東芝)
- エキスパートシステムによる建築作業のスケジューリング……松本信二, 他(清水建設)
- かんぱん方式の数理……小谷重徳(トヨタ自動車)
- ジャストインタイム・スケジューリング……宮崎茂次, 他(大阪府立大)
- 生産工場でのスケジューリング問題……山本正明(法政大学)

総合報告

- 確率スケジューリング問題について……木瀬洋, 塩山忠義(京都工芸繊維大)

文献紹介

- “Lessons for OR from AI: A Scheduling Case Study”